

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-07 社会福祉運営事業				タイムスコード及び個別事業名				
	□支援部門				1	社会福祉運営事業			
主管課	福祉政策課・生活福祉課		関連課						
分野名	健康福祉								
目標 (目標値)	鎌倉市内に居住する低所得者世帯等に対する一時的緊急の援助として、生活保護法適用以前の者を救済し、経済的自立と生活意欲の助長を図るため、緊急援護金の貸付或いは緊急援護品の給付について、社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に委託している。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	487千円	491千円	・生活福祉課執行 分のみ。					
	(国・県)						指標と評価		
	(負担金等)						指標		
	(一般財源)	487千円	491千円				評価		
	人員配置数	0.0人	0.0人						
	人件費	0千円	0千円				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	協働の パートナー	無	無				目標値	実績値	
事務事業 運営経費	総事業費	487千円	491千円	20年度					
	市民1人当 りの経費	3円	3円	21年度					
	対象者1人 当りの経費			22年度					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度					
				最終年度 (年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 特になし							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 特になし							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 特になし							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 特になし							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	低所得世帯等に対する一時的緊急 援護については、今後も継続してい く。 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議 会に引き続き委託が必要である。		評価結果	改善の必要性	今後とも必要な事業であり、緊急 一時援護を必要とする方への迅速 な対応を継続していく必要がある。			
B	無			B	無				
課長名		生活福祉課長 曾根 健治		部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子			